



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成25年度の基本方針
スカウト運動の基本に基づいて
よりよいスカウトを育てよう!
—まずは班制教育の徹底—

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟

運動拡大委員会

発行責任者：越森 誠

編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内

TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	その他	計	ビーバー (BVS)		カブ (CS)		ボーイ (BS)		ベンチャー (VS)		ローバー (RS)	
								指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス
登録数	115	530	1,268	1,882	4,137	2	7,293	340	536	697	1,116	459	1,196	252	697	134	592
前年度末比	115	540	1,387	2,100	4,783	2	8,276	393	819	834	1,302	487	1,329	248	690	138	643

[加盟登録状況]平成25年8月31日現在



第16回 日本ジャンボリー (16NJ) 山口県で開催!

「大きくなったスカウト、私たちの未来へ」

第16回日本ジャンボリー千葉県連盟派遣団長 伊藤 知



広大な会場に降り立ち 53の国と地域の旗が、はためくのを見て、思わず One world one promise とつぶやいた。東京ディズニーリゾート(290ha)の約3倍もある会場のキャンプ地に行くのも大変だ。

スカウトは世界の多くの人たちと出会い、熱い想い、感動、友情にふれあい大きくなった。開会式、閉会式ともに素晴らしく感動した。大会中に行われたアリーナーショーは、開始直前に雷雨に見舞われたが、1時間遅れでチーム「テープブルース」のアクロバット飛行の後開会、安倍首相、下村文科相の激励の言葉、皇太子さまは「世界各地のスカウトと交流し国際的な視野を深め、地球上の様々な問題について考える場としてください」と述べられた。宇宙飛行士の野口聡一郎さんは「スカウトとしてリーダーシップ、世界中の人と仲良く交流することを学んだ。その後の私の人生で本当に役立っている」と語られた。スカウトは、支えてくれた大勢の人々に感謝するのみです。



帰りの新幹線の中である隊長からスカウトに、1年後の私というテーマで、はがきを書いて貰った。それをそっと見せていただいた。「自分は



生まれてこなければよかった。今までの自分は嫌いだった。でも今は違う、16NJに参加して変わった。1年後は頑張っている自分がある」と言うような内容で、目頭が熱くなり思わず隊長に、これがスカウティングですね有難うと言う言葉がでた。

スカウトは数々の交流、友情、感動があり、辛かったことも吹き飛んだと思う。

それで一回りも二回りも大きなスカウトになった。沢山の指導者に支えられて今がある。素晴らしい感動の16NJが終わった。皆様有難う。



千葉県

ローバース会議発足



皆さんはじめまして。千葉県ローバース会議の議長を拝命致しました千葉第27団所属の米澤舜です。この度、千葉県ローバース会議が発足しましたのでお知らせ致します。

1908年にボーイスカウトが日本に伝わり100年余り。現在、ボーイスカウト全体の課題として、スカウトの減少とそれに伴う活動の縮小があります。また、継続者の減少により後進の育成・指導にも影響が出ています。伝えられたことを伝えるという将来へのサイクルが危ういものになり、次の世代にそのしわ寄せがいかってしまう、そんな未来を打開するための第一歩としてこの組織は設立されました。

私はこれからのボーイスカウトを作っていく上でスカウト同士の繋がりはとても大切なものだと考えています。この組織を介して人々が繋がり、彼らが自主的に活動を行っていく、その流れはスカウト運動の活性化に結びつくものです。未来のスカウト運動のため皆様の応援をお願い致します。

県内各地区の隊活動便り

東葛地区ビーバーランド

東葛地区 我孫子第1団 ビーバースカウト隊長 堀田 智章



4月14日(日) 柏市大津ヶ丘中央公園で、地区12個団によるビーバーランドを開催しました。タイトルは「にんじゃごっこ きみもにんじゃになるう」です。見学者

も含めたスカウトの参加数は約90人、保護者・指導者も含め約200人弱となりました。

3個団を1グループとして4グループに別け、幹事団グループはビーバーランドの全体運営とおやつコーナー(まきびしの術)を担当し、3グループがそれぞれ忍者になるための訓練

とプログラム(吹き矢の術、葉っぱで変身の術、忍びの術)を展開しました。吹き矢の術ではストローを使った吹き矢の当て、葉っぱで変身の術では木の葉でお面づくり、忍びの術では段ボールトンネル迷路で楽しみ、まきびしの術では箸を使って「金平糖」を取りました。

「僕は吹き矢が〇〇本入ったよ!」「迷路の中、暗かったけど頑張ったよ!」とのスカウトの声や「作った吹き矢とお面をうれしそうに家に持って帰って遊んでいた」「シンプルな遊びで楽しそう」「金平糖を箸を使って頑張って取っていた」などの保護者の感想を各団より聞く事が出来て、子どもたちが楽しんだことを感じ取ることができました。

年末には来年の開催に向けた打ち合わせが始まります。来年は何をやりましょうかね?



2013年サマーキャンプin鴨川

南総地区 袖ヶ浦第1団 カブスカウト隊しかスカウト 藤代 柚乃

キャンプ一日目はみんなとなかよく泊まれるか心配でした。でも大丈夫でした。

あと海で泳いで気持ち良かったです。ワカメがたくさんあってびっくりしました。もらったメロンを食べたらとても甘くておいしかったです。



次に夜の冒険に行つて、ラッコやペンギン、魚やアシカがいてかわいかったです。シャチやイルカが近くにきてくれて嬉しかったです。

その次の日ラリーをやりました。それが一番心に残りました。なぜなら「幸せのクローバーの銀貨」を仁右衛門さんに「怪盗ミスターXから取り返してほしい。」と言われ取り返したからです。架空の村の菊麻上村や猪野石村や小佐上村でゲームをして、暗号をゲットして怪盗ミスターXの正体をつきとめたからです。

キャンプファイヤーではスタンツをやつて緊張したけど、大成功したのでよかったです。「キャンプファイヤー」を歌ったのがとても楽しかったです。その歌を歌っていたら火が大きく広がっていった気がしました。

来年もやりたいです。



サマーキャンプ準備完了!われらコブラ班

北総地区 野田第7団 ボーイスカウト隊 川崎 紅音



待ちに待ったサマーキャンプが1週間後に迫ってきました。この日のために、立かまど作り、トレーニングキャンプ、野外炊飯、コンパスを使ったハイキングなどなど、楽しむための訓練をしてきました。

隊長・班長に怒られながら、部活や学校行事の後の少しの時間でも活動に参加する仲間たち…この班は抜群に参加率が良い。

仲間と協力しあって一

つのものを作り上げる喜び…というより、仲間と一緒にいる、ただそれだけで楽しい!…そんな班。今日は、サマーキャンプ備品の準備にみんなが集まり、各プログラムの目的

についての最終確認…というより最高に楽しむためのキャンプ計画について、班長中心に話し合いました。火起こし大会・フィールドアスレチック・筑波山登山・ナイトハイク・キャンプファイヤー…、盛りだくさんのプログラムにワクワクしながら、みんな意見をぶつけ合っています。私たちの隊は1班:8人のスカウトなので班対抗での活動ができませんでした。しかし、いつのまにか、活動時には2グループに分かれて、みんなで対抗ゲームを考えています。この仲間では最後のキャンプ…さあ!思いっきり楽しもう!オーウツ!



国際交流

国境を越えたスカウティングに学ぶこと

平成25年度韓日スカウトフォーラム派遣

千葉地区 千葉第18団 ベンチャースカウト隊 岩井田 慧美



通で理解しなければいけない問題を共に考える、というものでした。フォーラムに参加する前の事前訓練で、同じ内容を派遣団員と話し合いましたが、韓国のスカウトと話をすると、異なる意見がいくつもありました。

まず始めに、今回の派遣に携わって下さった全ての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。皆さんはスカウトフォーラムをご存知でしょうか。私が今回参加させていただいた韓日スカウトフォーラムは、今年で12回目を迎えました。スカウトフォーラムとは、共通の話題についてお互いの意見を出し合い、未来志向で自分に何ができるか主体的に考え、自分の意思をはっきりさせるチャンスです。文化も、言語も、社会環境も異なる外国のスカウトと共通の話題を話し合うことは、新しい見方を見つけるプロセスにもなります。

今回のフォーラムテーマは「knock on the nature」。森林破壊や水質汚染という世界共

通で理解しなければいけない問題を共に考える、というものでした。フォーラムに参加する前の事前訓練で、同じ内容を派遣団員と話し合いましたが、韓国のスカウトと話をすると、異なる意見がいくつもありました。

韓国スカウトとコミュニケーションをとるときは英語で会話をします。3年前にスウェーデンで開催された第22回世界スカウトジャン



ボリーに参加した時には、ジェスチャーで何とかなるものなのだと分かったつもりでしたが、先程書いた通り、フォーラムは自分の意思をはっきりさせるチャンスです。何となく伝わればいいのではなく、はっきりと相手に伝わらなければいけません。韓国のスカウトと意思疎通できない時には、自分の英語能力の足りなさを痛感しましたが、同時に今後の課題も見つけることができました。

今回の派遣を通して考えたことはたくさんありますが、何より自分の目的を果たせたこと、これからの自分の課題を見つけられたことに大きな成果を感じます。一生忘れられないたくさんの思い出も頂きました。改めて感謝致します。ありがとうございました。



16NJ参加 ベンチャースカウト-国際サービスチーム員 (VS-IST)からの報告



千葉地区 千葉第21団 ベンチャースカウト隊 尾崎 勇哉



私は第16回日本ジャンボリーにISTとして全日程で参加した。ISTとしては初参加で何もわからないまま出発した。さらには浜は思っていたよりもずっと暑かった。それに

たたみかけるように、とても忙しい業務で前半は楽しむ余裕があまりなかった。日が過ぎるにつれて、業務や暑さ、隊員たちにも慣れてきて、心にゆとりが生まれてきた。そこで初めて、ジャンボリーに来ているなど実感がわいた。そこからは日が過ぎるのは早かった。

ISTとしてジャンボリーに参加して、二つ良い経験が出来た。ジャンボリーを違う視点で見られたことと、他地区のスカウトと交流が出来たことだ。得た物はたくさんあったのでこれからの活動に生かしていきたい。

東葛地区 柏第5団 ベンチャースカウト隊 日笠 義隆



第16回日本ジャンボリーにVS-ISTとして参加しました。前回の第15回日本ジャンボリーは派遣隊で参加したので、今回のVS-IST参加には良い思いがしませんでした。

VS-ISTとしての配属がきまり県連盟プログラム「地球開発村(GDV)環境問題の食料と水」の担当になり、VS-ISTの中でも少し違う日程でした。仕事はとてもやりがいのある良いものでした。プログラムに参加したボーイスカウトが私の話を聞いた後「とても楽しかったです。ありがとうございました。」とってくれたので、派遣隊ではなくVS-ISTとして参加して本当に良かったと思いました。

貴重な体験ができてとても感謝しています。支えてくれたリーダー、スタッフ、そしてジャンボリーにありがとう！

北総地区 流山第5団 ベンチャースカウト隊 村上 貴俊



第16回日本ジャンボリーにVS-ISTとして参加しました。今まで参加した第15回日本ジャンボリー、第22回世界スカウトジャンボリーとは違ったものを体験することができ、有意義でした。

VS-ISTとして参加するという事は、参加隊との立場の違いを強く実感させられ、今まで参加したジャンボリーの裏側で運営する側の苦勞を身にしみて理解することができました。

今回の参加を通して学んだことを生かして、自隊のベンチャースカウト隊の活動をより活発にし、準章、富士章を目指します。力強くスカウト活動に励み、次にISTとしてジャンボリーに参加するときはもっと活躍できるようにしておきたいと思います。



第16回 日本ジャンボリー」報告

山口県山口市きらら浜にて開催

2013年7月31日(水)～8月8日(木)



千葉1隊 狩野 貴滋 (千葉第26回 ベンチャースカウト隊)



今回の16NJで私が1番印象に残った1日は、8月4日の日曜日です。この日は文化交流日で、午前中の宗教儀礼では、前半各宗教でそれぞれの宗教の教えについて紹介したりしていましたが、自分はキリスト教なので自分の宗教の所に行きましたが、自分がどこの宗教なのかよくわからない人にとっても、宗教について考えるいい機会になったと思います。後半は、アリーナで信仰奨励の集いがありました。ここでは、ほかの宗教や、ちかいとおきてについて考えることができました。

そして、いったんキャンプサイトで昼食をとってアリーナショーに向かったときに雨が降り出して、あっという間にものすごく強い雨になりました。雷もすぐ近くで鳴っていて、実際に落ちるのも見えました。キャンプをしているときに、あんなに強い雨が降ったことはなかったし、普段の生活でもなかなかないことだったのでとても印象に残っています。

私は、今回の16NJを通して、改めて班長の大変さや、ちかいとおきての意味について、身をもって感じることができました。この16NJで色々なことを学びましたが、それらの事を今後のスカウト生活にいかしていきたいです。

千葉第2隊 亀田遼太郎 (千葉第8回 ベンチャースカウト隊)



16NJを終えて

16NJを終えて思ったのは、ボーイスカウトの仲間と会うことができ良かったということだ。千葉2隊に所属して班長としてやっていると、ことあるごとにそう思った。

最初に班の仲間と会ったときはまだ他人で、よそよそしく接していた。しかしキャンプを通して一緒に生活していくうちに自然に仲良くなっていった。一つのことをみんなでやれば団結できると改めて感じた。



NJ本番も他隊との交流や、道端で会う様々な都道府県、国のスカウトとの挨拶を通じて、スカウトは皆兄弟ということを実感できた。特に、アリーナでの開会式等では1万2千人のスカウトが集合している景色を見てとても感動した。またジャンボリーに参加してこの感動を味わいたい。

千葉3隊 菱沼 俊希 (船橋第8回ボーイスカウト隊)



ジャンボリーで学んだこと

僕はオットセイ班という班の班長でした。

オットセイ班は正直、技能的には全然高い方ではありませんでした。班員の意見が合わ

なかったり、作業が他班より遅かったりもしました。そんな中でもオットセイ班の良い所もたくさん見つけることができました。知らない人ともすぐ話せるようになったり、社交的な所などもたくさんありました。

最初の方は全然まとめられなかった班員も少しづつ話をしていくうちに前よりも上手くまとめていくことができました。もちろん班員だけでなく僕もたくさんのミスをしました。優しい班員達がフォローしてくれたのは本当にうれしかったです。

このジャンボリーは僕を人として大きくしてくれた気がします。

千葉4隊 矢島 岳史 (船橋第20回ベンチャースカウト隊)



16NJに参加して

連日の猛暑の中で行われた16NJは、文字どおり暑さとの戦い、本当に大変だった。班のメンバーとの息も、最初は全く合わずかなり苦労し、また毎日のプログラ

ムもあり、かなり忙しい日々だった。部活の合宿から帰宅したばかりだったこともあり、体力的にも厳しかった。中でも開会式、アリーナショー、閉会式などはとても盛り上がり、かなり楽しかった。

また、プログラムもサイエンスやカルチャーなどの様々なプログラムを通じて普段はあまり学ぶことのできないいろいろなことを学ぶことができましたのはよかったです。

そして、8泊の日本ジャンボリーという大きな舞台で様々なこと行えたことは非常に大きく、貴重な経験となった。

千葉5隊 諸岡 直毅 (柏第2回 ベンチャースカウト隊)



今回のジャンボリーと前回との差

私は、きらら浜の第16回日本ジャンボリーに参加しました。前回朝霧の第15回日本ジャンボリーと比較すると、この間に韓国ジャンボリー

も参加し、夏場のキャンプに必要な力を鍛え、体力気力とも余裕があったと思います。

今回は気温が高いだけでなくゲリラ豪雨が降るなど、前回や韓国に比べ過酷な環境でしたが、隊のスカウト全員が倒れることなく参加しきりました。

また、今回はその場だけでなくSNSを使用したコミュニケーションも取れるので、ジャンボリー後も交流が取れていて携帯を持っていなかった前回よりは充実していたと思います。

今回のジャンボリーは様々な面で前回より、充実かつ快適に活動を行うことができました。

きらら浜に約14,000人が集う!



千葉6隊 浦田 和喜 (柏第9団 ベンチャースカウト隊)



僕自身二度目のジャンボリーは、ソーラー自動車体験、凧揚げ、豪雨の後のアリーナショー、そして夜毎の交流会と思えばいいかもしれませんが、やはり一番記憶に残ったことはスカウト通信員の仕事でした。最初はどうすればよいかわからなかったのですが、4、5、6隊の通信員3人で活動しようということになり、3人でフェイスブックのページを作り、毎日16~18時頃まで「メディアセンター」に集まり、楽しく運営しました。僕は他の通信員の活動の様子を見て、いいな!と思ったものを参考にしていました。8泊9日の短い期間で思う存分に仕事をできませんでした、とてもよい経験になりました。



千葉7隊 阿蘇 武 (流山第4団 ベンチャースカウト隊)



成長を実感したジャンボリー

今大会は自分にとって2度目のジャンボリーであり、ベンチャースカウトとしては初めての参加でもあるので、自分に出来ることを考えた結果、できるだけ多く交流の場を設け、参加したスカウトに「来て良かった」と言ってもらえるように頑張ろうと思いました。実際に大会が始まってみると、なかなか思い通りにならないこともありましたが、それでも日々「成長した」という実感はあり、それが次第に自信にも繋がりました。

大会後半には海外の隊とも積極的に交流することができました。心からこの大会に参加できてよかったと思います。改善すべき点はまだまだ沢山ありますが、2年後に再びきらら浜に来られるように頑張っていきたいと思っています。



千葉8隊 高岡 日向 (松戸第5団 ベンチャースカウト隊)



16NJに参加して

ジャンボリーは今回が二回目で班長として参加しましたが、よく知らない班員をまとめるのとても苦労しました。

最初は班員達がバラバラで、班として成立しているのかすら分からない状態になってしまいました。

しかし、地道に声掛けを続けると班内から優秀班を取ろう、ちゃんとしようといった声が出始めました。

優秀班は取れませんでした、時間はかかっても班として一つにまとまれた事が今回の最大の成果だと思っています。

出来れば今回の反省と経験を活かし、もう一度キャンプをしたい所ですが、そうもいかないので、原隊に戻ってからの糧とします。スカウトとして試された9日間でしたが、人間としてもより成長していきたいと思っています。

千葉9隊 石黒 智子 (松戸第1団 ボーイスカウト隊)



ジャンボリーの思い出

ジャンボリーで印象的だったのは、ゲリラ豪雨です。アリーナショーの出発準備をしていると突然の土砂降り。物は濡れ、テントの中にも水が入り浸水。少し前の天気か嘘のようでした。私は雨に濡れないよう避難しましたが、ベンチャーの先輩方は違いました。制服が濡れるのも厭わず、みんなのテントが飛ばないようにと一所懸命対応していました。その時何も出来なかった自分を後悔しています。

このジャンボリーでたくさんの事を学びました。一番に思うことは「仲間の大切さ」です。設営やご飯作り、一緒に盛り上がる時、大雨で大変な時、いつも仲間と一緒にでした。すべて大切な思い出です。今度は、世界ジャンボリーでみんなに会いたいです!

千葉10隊 高倉 楓麻 (旭第2団 ボーイスカウト隊)



日本ジャンボリーに参加して

第16回日本ジャンボリーに参加してきました。初めて会う他団のスカウトたちと、8泊9日間のキャンプ生活を問題なく過ごせるか不安でした。しかし訓練キャンプを重ね、班員の性格がわかってくると、とても仲良くなることができました。そして、最高の仲間を得ることができたのです。

山口県きらら浜は、とても暑かったです。暑さの中でのプログラム活動は過酷でしたが、多くの感動を体感することができました。5日目に集中豪雨があり、テントが水没してしまいました。このようなツライ状況も班員全員で協力し、乗り越えることができました。いろいろありましたが、最高の思い出となりました。今後もベンチャースカウトに上進し頑張っていきます。

3 ページからつづき



16NJ参加 ベンチャースカウト-国際サービスチーム員 (VS-IST)からの報告



(千葉県連盟VS-IST副議長)

香取東総地区 旭第2回
ベンチャースカウト隊 高倉 颯汰



今回の第16回日本ジャンボリーはVS-ISTとして参加しました。

VS-ISTは成人ISTと違い前半と後半で業務が分かれます。私は前半が場内プログラム部、後半は安全・救護部でした。私は前回の第15回日本ジャンボリーの時には派遣隊で参加したので、今回は提供・サポートする側にまわってみて大変でしたが、スカウト達が楽しめるように頑張りました。千葉県のVS-ISTの人達と交流をして、いろいろと普段どんな活動をしているかなどについて話しました。また他県のVS-ISTとも交流をして仲良くなりました。今回のVS-ISTに参加できて本当にうれしく思います。今回はとても貴重な経験ができました。これからも、この経験を生かしたスカウト活動を頑張ります。

上総地区 東金第1回
ベンチャースカウト隊 江本 啓介



私は7月29日～8月9日まで第16回日本ジャンボリーに参加しました。今回は第23回世界スカウトジャンボリーのプレ大会ということで、世界中からたくさんのスカウトが参加しました。私はISTとしての参加だったのでプログラムを楽しむことはできませんでしたが、スタッフとして運営することには、参加者とは違う楽しみがありました。私は前半の業務がCRC(文化の交差点)のゲートの係で、後半は安全・救護部でした。前半の業務はゲートで判子を押すことで、いろいろな外国の人と交流できて良かったです。また後半の業務でも、たくさん交流ができて良かったです。今回の第16回日本ジャンボリーでもとても良い経験ができたので、次回の第23回世界ジャンボリーに参加してさらに経験を積みたいと思いました。

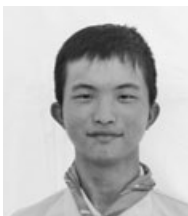
上総地区 市原第6回
ベンチャースカウト隊 加藤 哲志



僕はこの第16回日本ジャンボリーで初めてジャンボリーに参加しました。今まで行ったキャンプで最も長いのが3泊4日だったので様々な面で不安がありました。

いざ始まるとそんな心配は吹っ飛び、楽しく、充実した11泊12日を送ることができました。ところで皆さんはISTの人が何をしているか、ご存知でしょうか。簡単に説明すると参加隊の方がジャンボリーを楽しめるようにする仕事です。2015年には第16回日本ジャンボリーと同じきらら浜で第23回世界ジャンボリーがあります。僕は今、高校1年生なので第23回世界ジャンボリーの時は高校3年生となり受験生になってしまうので参加できるか分かりませんが、今の気持ちは絶対に行きたい!

八千代・習志野地区 習志野第2回
ベンチャースカウト隊 田中 琢 (千葉県連盟VS-IST議長)



私はこのジャンボリーで「多方面から見る」ことを学んだ。初めて大会運営に携わって、様々な個性を持つスカウト、ISTに出会った。後半担当した「スチュワード」では、サブキャンプ内のスカウトの様子を見ていた。多くは何人かで楽しそうに交流していた。しかし、ある人は一人で離れた場所でうつむきながらこそこそと何かやっていた。私は第15回日本ジャンボリー(15NJ)、第22回世界ジャンボリー(22WSJ)を思い出しながら、各々のスカウトの立場になってサポートに努めた。しかし、そのスカウトが落ち込んでいる背景を理解するのに時間がかかった。今後、ベンチャースカウト活動でピーバースカウト年代との交流を複数回予定している。それぞれ個性をもつスカウトと会話し、幅広い視野を持つことで、今回の反省を解決したい。

ところで、この期間に、あるオーストラリア人のリーダーが言っていた。「日本人は上部の人がスケジュール管理をしているが、その下にいる人はそれができない。怠け者だ。」私はその言葉を聞いてショックを受けた。「大会を運営する」とは、各自が責任ある行動をとることだ、と気づかされた。2年後に同じ場所で世界ジャンボリーが開催される。私は「IST」として外国から来る方々に楽しんでもらえるように業務内容、スケジュール、更にそれに対する準備を行っていく。

第16回日本ジャンボリー(16NJ)最高だった。ありがとう!!



印旛地区 佐倉第4回
ベンチャースカウト隊 鈴木 里沙



私は受験生でしたが、第16回日本ジャンボリーに参加をさせて頂きました。受験、ISTと不安なことが多かったですが、今は参加できてとても良かったです。

VS-ISTはスカウトでもあり、大人の立場でもあるという難しい立場でした。そんな中でしたが、12日間を乗り越えられたのは仲間のお陰だと思います。業務が終わってから海へ行ったり、星を見たりと有意義な時間を過ごすことができました。また第15回日本ジャンボリーの時に出会った人たちとの再会や新しい人との出会いなど、このような経験はジャンボリーならではのものだと思います。今回で3回目のジャンボリーでしたが、ISTとして参加者を楽しませながら、自分たちも楽しむことができ、参加できて本当に良かったと思います。

ゲット!!

富士章・千葉県連盟準章・菊スカウト章 取得スカウト

はやぶさ

平成25年3月1日
平成25年8月20日

富士章

木下 萌美	千葉	1回
辻 裕美	浦安	2回

千葉県連盟準章

荒木 祥行	匝瑳	1回
加納 亮太	千葉	25回
佐藤 俊介	千葉	25回
川相 拓也	千葉	27回

日連準章

原口 幸	富津	1回
井原 綾子	市原	6回
来栖 輝明	旭	1回
宇治 大智	千葉	9回

菊スカウト章

大河内智史	習志野	2回
富田 光	木更津	3回
秦野 真希	佐倉	3回
太田 光彦	木更津	2回
稲村 文行	船橋	3回
大木 一輝	船橋	3回
渡辺 北斗	松戸	9回
高橋 直希	千葉	6回
古家 和将	千葉	6回
堀越 廉	千葉	6回
坂東 和真	千葉	6回
荻谷 克陽	柏	9回
林 和希	銚子	3回
関元 紅音	佐倉	3回
門馬由里子	富里	1回
中村 和奏	柏	1回
尾形 凱	習志野	2回
松代 泰輔	松戸	1回
倉岡 祐太	松戸	5回
越川 尚裕	八街	1回
中山 堯登	印西白井	1回
大川 央	銚子	2回

菊スカウト章

岡田 修平	我孫子	1回
相澤 樹範	我孫子	1回
圓子 翔平	我孫子	1回
渡辺 海斗	袖ヶ浦	1回
生野 広大	習志野	2回
山口 佑亮	流山	4回
小池 夏輝	流山	4回
吉木 達郎	流山	5回
高見 軍司	流山	5回
鷹簀 久秀	東金	1回
松本 峻太	千葉	6回
和田 宗一郎	千葉	13回
呼坂 悠太	千葉	13回
吉田 周生	船橋	10回
森 崇志	市原	6回
中村 秀次	野田	1回
金澤 悠璃	船橋	14回
宇治 誠人	千葉	9回
中川 雄貴	浦安	1回
中村 剛	浦安	2回
坂井 健将	浦安	2回
田中 怜	浦安	2回

菊スカウト章

古鍛冶 賢	柏	2回
椎葉 美友	松戸	1回
高梨 愛菜	市原	1回
長嶋 亨	市原	1回
堀内菜々子	市原	1回
花岡 尚輝	市原	3回
佐藤 嶺	茂原	2回
片寄 颯人	八千代	2回
渡辺 美帆	八千代	2回
藤瀬 耀太	浦安	2回
高橋 聖司	千葉	6回
望月 光	袖ヶ浦	1回

宗教章

仏教

堀内 美沙	市川	8回
岩井田 慧美	千葉	18回
栗山 智宏	袖ヶ浦	1回
長島 勇輝	柏	1回
大倉 基	柏	1回
宇治 大智	千葉	9回

第25回 千葉県連盟準章受章及び富士章受章スカウト顕彰会

平成25年3月26日(火)

去る3月26日、千葉県庁において第25回千葉県連盟準章及び富士章受章スカウト顕彰会が開催され、瀧本寛千葉県教育長より出席した6人のスカウトに激励のお言葉をいただきました。続いてスカウトより謝辞と教育長へ弥栄を贈り式典を終えました。



船橋第5回、佐々木涼太の司会で開式



受章スカウトの紹介



鈴木連盟長挨拶



千葉県教育長、滝本寛様より
激励の言葉を頂戴する



スカウト代表謝辞、
千葉第1回木下萌美



弥栄三唱



教育長ほか、ご臨席頂いた方々との握手



ご臨席の皆様



記念撮影

日本連盟準章を取得して

南総地区 富津第1回
ベンチャースカウト隊 原口 幸



私が、これまで取り組んできた様々な活動の成果として、日本連盟準章を取得することができ、とても嬉しく思っています。

ここまでこられたのも、一緒に活動してくれた仲間やアドバイスをしてくださった指導者の方々、見守ってくれた家族のおかげだと感謝しています。

東京湾一周の自転車旅行では、想像以上に辛く苦しいことが多く、途中でくじけそうになったこともありました。けれども無事に完走することができ私は一回り成長することができました。

これから準章に取り組むスカウトには、失敗を恐れず行動を起こしてほしいと思います。困難にぶつかったとしても、諦めずに仲間を信じ、貫き通して欲しいのです。そして、感謝の気持ちを持ち続ければ必ず応援してくれる人がいるはずですよ。

今後は、ボーイスカウト活動で学んだことを日々の生活の中で活かし、富士章取得という目標に向かって挑戦していきたいと思っています。

5 ページからつづき



第16回 日本ジャンボリー報告

山口県山口市きらら浜にて開催 2013年7月31日(水)~8月8日(木)

きらら浜に約14,000人が集う!



千葉11隊 小泉 由輝 (茂原第2回 ベンチャースカウト隊)



私が16回日本ジャンボリーに参加しようと思ったのは、15回日本ジャンボリーがとても楽しく、いい経験になったからです。今回の日本ジャンボリーの目標は「2回目の大会をとことん楽しむ」でした。

日本ジャンボリーでは、他の派遣隊の人や他の国の人などとたくさん交流でき、名刺も百枚以上交換でき、とても充実した九日間でした。特に印象に残っているのはアリーナショーの時に、移動の際に突然の豪雨でずぶ濡れになり、フライテントが潰れ最悪でしたが、その日から団結力が上がり、残り半分を楽しめました。それは仲間のおかげであり、友の大切さを学びました。2回の日本ジャンボリーの経験を生かし、世界スカウトジャンボリーにも行きたいと思いました。

千葉12隊 鳥海 真司 (富津第1回 ベンチャースカウト隊)



16NJで学んだこと

僕は16NJでGDV(地球開発村)を見て、世界と日本の食糧問題に興味を持ちました。僕の班では、千葉県のブースに行き、世界を視野にいた日本の食糧問題について

学びました。その中で、日本では食べ残しが三百六十万トンも出ていることを知りました。その時なぜ、こんなに大量の食べ残しが出るのかと疑問を持ちました。担当者に聞いてみたところ、買ったけれど嫌いな食べ物が入っているから食べない人が多いそうです。最初から食べられないのなら買わなければ良いと思います。つまり、必要な分だけ購入すれば食品ロスが減り、その食料を食料が不足している国に送れば、世界の食糧問題を少しは改善できると思います。



千葉15隊 横路 友翼 (四街道第1回 ボーイスカウト隊)



第16回日本ジャンボリーに参加して

今回の第16回日本ジャンボリーでは、他の地域の隊と交流でき、様々なことを経験することができた。自分は、あまり積極的な性格ではなかったが、この16NJ

を通して少し積極的になれたような気がした。

アリーナショーや閉会式でもとても楽しむことができた。楽しかったことも沢山あったが、苦しいこともあった。移動中、突然大雨が降ってきて、持っていたものは全て濡れてしまったが、千葉15隊の皆は、そんな状況の中でも明るく雨乞いをしていた。これを見て、16NJの力はすごいと思い、ジャンボリーではどんな状況の中でも楽しむことができるのに感動した。最後には、まだ帰りたくないと思うと、ともに参加して良かったと思えた。

千葉13隊 遠藤 拓哉 (市川第3回 ベンチャースカウト隊)



16NJに参加して

15・16NJと2つのジャンボリーに参加し、15NJでは日本にはこんなにも沢山のスカウトがいるのだということに驚き、自分がいかに井の中の蛙だったのかを感じました。今回の16NJでは、沢山のスカウトがいる事を再認識し、沢山の考え方がある事を学びました。

雨が降り大変な時も、自分だけが嫌な気持ちではなく、他の人もそうなのだと思うようになりました。NJを通じて、私は自己中心的な人間ではなく、他人の事を思い気遣いのできる、他人の事を考えられる人間になりたいと思いました。

次の世界ジャンボリーでも、違う事を感じたいと思います。私は、世界にも行きたいです。

千葉14隊 田中 良 (習志野第2回 ベンチャースカウト隊)



通信員をやってみて

灼熱の太陽のもと、毎朝Fサイトからメディアセンターまで20分の道のりを歩き、配信作業をする。帰りは、隊長から言われた時間に間に合うようにダッシュして戻る。プログラムに参加していても楽しむことより撮影を優先した。

自分の交流や休憩時間を削って、作業をするのは辛かったが、おかげで事前準備の段取りの工夫ができるようになった。また、通信員の会合で世界スカウト委員の中野まりさんから「ジャンボリーはイベントではなく教育プログラムだ。」という言葉を受け納得した。スカウト活動は自分の成長のために行う活動だ。だから自ら行うものである。仲間やリーダーからの励ましをうけ、僕は自立し、成長の機会を得ることができた。

編集後記

「スカウトちば」には、スカウトたちが執筆した活動記事(スカウトのページ)を、より多く掲載したいと思っています。

今回の73号はボーイスカウトとベンチャースカウトの16NJ特集をはじめビーバースカウトの活動報告からローバースカウトまで、全ページスカウトの執筆記事で満載となりました。よって、指導者のページや連載企画などは、休載といたしました。

編集長 上野 孝